

「対人援助技術研修」開催要項

研修番号

13

集合

1. テーマ

「対人援助職におけるコミュニケーション
～原点回帰してみよう～」

2. 講師

聖隷クリストファー大学 社会福祉学部社会福祉学科介護福祉コース
教授 野田 由佳里 氏

＜プロフィール＞

聖隷クリストファー大学社会福祉学部教授 兼 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校校長として介護福祉士養成教育に携わる。介護福祉士養成施設協会理事（2019年度から現在に至る）介護現場の実務経験15年、介護福祉教育20年目（2005年～現在に至る）介護福祉論・高齢者福祉論・介護過程等を担当。現在の研究キーワードは、外国人介護労働者と認定介護福祉士。研究テーマは、介護職の継続就労、有能感や所属意識をもたらす意識変容。著書は、事例から考える「情報の見立て方」（2023）など。

3. 開催日時及び会場

【日時】令和6年8月22日（木） 10:00～16:40

【会場】名古屋市医師会館 6階講堂

東区葵1-4-38 最寄駅：地下鉄東山線「新栄町」駅

4. 定員及び対象者

【定員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所に従事し、従事期間が概ね1年未満の者

5. ねらい

援助は、対応する利用者の心身の状況に応じて意図的に関わることが基本的な姿勢であり、専門職に必要な知識や技術は、日々研鑽が必要です。中でもコミュニケーションは、対人援助職において、利用者との関係性を築くために専門性が求められるにも関わらず、自己研鑽だけでは内省することが難しいのが現状です。そこで今回の研修を通して、何ができていて、何ができていないかを自己の振り返りから、マイナーチェンジをする機会を目指します。

6. 日程

	9:30	10:00	12:00	13:00	16:00	16:40
受付		講義 対人援助の基本技術 わかる時間：再習得 「理解して腑に落ちる」	昼休憩	演習・事例検討 かわる時間：変容 「納得して動く勇氣に転換する」		高齢者及び 障害者虐待 防止法の 理解

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

※16時より高齢者及び障害者虐待防止法について理解を図る研修を実施します。

7. 申込期限

令和6年6月10日（月）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>

名古屋市社協 と **社会福祉研修センター** で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※**6月17日（月）**までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (4) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となる場合があります。中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。
- (6) 本研修は、令和6年11月11日（月）にも同一内容で開催します。